

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング

概要

マイコン制御設計／パソコン制御設計（各種制御含む）の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた通信手順の設計やデータ収録システムの開発実習を通じて、表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング習得します。

対象者

制御システム開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定 員	受 講 料
4D040	8/23(水)、8/24(木)	9:00～16:00	2	12H	10人	8,000円

内 容

1. コース概要及び留意事項

- (1) コースの目的
- (2) 専門的能力の現状確認
- (3) 安全上の留意事項

2. シリアル通信の概要

- (1) シリアル通信の
データフォーマットと電気的特性
- (2) 通信データ解析実習

3. 表計算ソフトプログラミング

- (1) データ蓄積処理の定義
- (2) 操作画面の作成

4. 通信処理プログラミング

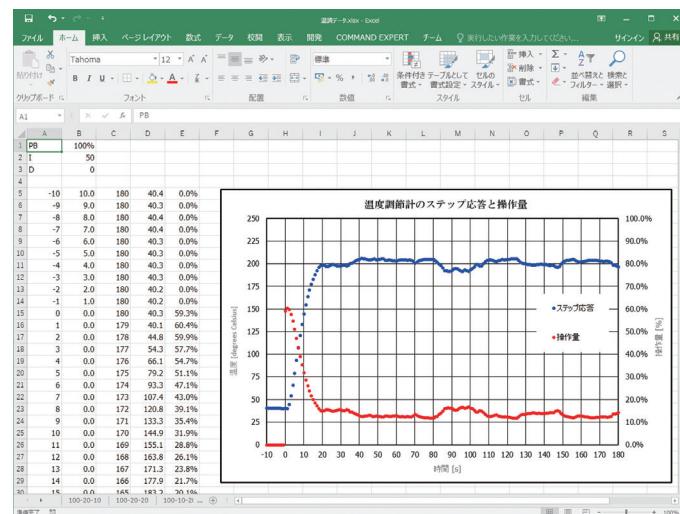
- (1) シリアル通信の初期化
- (2) 制御コマンドと
- (3) 通信手順

5. データ収録システム開発実習

- (1) データの受信と蓄積
- (2) 蓄積データの集計とグラフ描画
- (3) データ収録システムの開発実習

6. まとめ

- (1) 実習の全体的な講評及び確認・評価



UARTによって取得したデータをグラフ化した例

使 用 機 器

表計算ソフト、パソコン一式、通信ケーブル

使 用 テ キ ス ト

自作テキスト

受 講 者 持 参 品

筆記用具、データ持帰り用U S Bメモリ

講 師

北陸職業能力開発大学校 講師

ス テ ッ プ ア ッ プ

- ・エクセルの機能を新たに知る事ができ、仕事の効率アップや、自社製品の+α機能として使ってみたい
- ・EXCELをどのようにしたら、機器からくるデータを取り出すのか分かった